

# 第3回平戸市総合計画 基本構想起草委員会

## 議 事 録

と き：平成29年2月15日（水）14：30～17：15

ところ：平戸市役所4階会議室（議会傍聴席横）

開催日時	平成29年2月15日(水) 14:30~17:15
開催場所	平戸市役所 4階会議室(議会傍聴席横)
出席委員 (50音順、敬称略)	今川亮生、鴨川周二、西サチ子、村上則夫、森健司 (5名)
欠席委員 (50音順、敬称略)	坂本鏡心
事務局 (財務部企画財政課)	吉住財務部長、小出企画財政課長、藤山企画統計班長、峯野企画統計班係長、山口企画統計班主査 ※コンサル2名
次第	
1. 開会	
2. 財務部長 あいさつ	吉住財務部長
3. 審議会会長 あいさつ	村上会長
4. 議題 (1)第2次平戸市 総合計画基本構 想骨子案につい て  委員  委員	(プロローグについて、事務局から説明)  シビックプライドは郷土愛のようなものだと思うが、片仮名文字を入れると目にも頭にも残りやすく、いいと思う。  文章がおもしろくないので、わくわくするようなものがあればと思う。小さなときめきが大きなわくわくにつながるものがないか。昔が今につながるような表現をしたいのだが、私たちが今をどう捉えているのかというところがないとつながらない。つながっていくような言葉を入れて、「わくわくしませんか。一緒にときめきを感じていきましょう」という感じにできないか。

委員	プロローグそのものはいいい形式だ。小説などは必ず短文が先に来る。最初は何か柔らかい短い文言があればいい。エピローグは終わりなので、人間的な心を書いたらいい。
委員	田舎の良さを、住んでいる人だからこそ感じるところを出したほうがいい。地元ならではの目線で作っていただきたい。
委員	今の平戸を私たちがどう感じているか。それを受けて私たちの血が騒ぐということを出していきたい。
事務局	10年前に作文を書いた小学生に、今の平戸市を見ていただいたところをここに入れて、エピローグのところは今の小学生のものを入れてはどうかという意見もあった。
委員	子どもたちが表現したことは、意外と実現しているものもあるかもしれないし、大人にない発想がある。
委員	宝を宝として感じ取れているか。今、生きている人間が10年先、20年先も含めて、どうつなげようとしているか、何を感じ取っているかが非常に大事。歴史的な部分や大自然のことを、ここで少しでも紹介しておけば次に繋がると思う。
事務局	計画に入るプロローグの部分では次を開いてもらうためのわくわく感の部分を入れたほうがいいが、先ほど言われた「宝を宝として感じていますか」という部分は構想のところ書き込むという方向でいい。
委員	今考えているようなことをここで紹介して入り口になり、左右にドアを開く形でいい。
委員	前回の会議でストーリー性を持った計画をという話があったが、文章

	<p>が小説のような文体ではなく概要等を書いている文体なので、一貫性を持たせて、ポイントで小説風な記述を入れる方法もある。</p> <p>文体を極端に変えると違和感が出てくるが、平戸の魅力とか本当の価値をつかみで書いたほうが読んでもらえると感じた。</p> <p>地域協議会では、地域ごとのプロジェクトを、議会からも言われているので、地域の特性を活かした地域ごとの計画はある程度入れるので、その辺りの部分を話し合っていたきたい。</p> <p>(第1章、第2章について、事務局から説明)</p>
事務局	
委員	<p>「②にぎわいをつくり」の「今後は」の後に、「予定に伴う」とか「拡大が予想される」とか「産業の活性化が期待される」とあるが、書き方が弱いのでしっかり書いたほうがよい。</p>
委員	<p>「③誇りが持てるまち」という部分は、シビックプライドの文章としては少し弱い。市民アンケートでは医療体制等が最重要課題であったと思うが、シビックプライドという観点からは内容を詰めたほうがよい。</p>
委員	<p>「②にぎわいをつくり」の内容について、観光も特産品も、農業や漁業も生産性がポイント。それがあって初めて特産品につながり、観光も食などにつながっていくので、「水産業や農業の生産性の向上」等の文言をどこかに入れたらどうか。</p>
委員	<p>特産品の販路拡大に力を入れてある、その裏付けとなる生産活動ということか。</p>
委員	<p>そういうことである。「本市の宝にさらなる磨きをかけ、観光振興、水産業や農業の生産性の向上を図るとともに」など、どこかに入れていただきたい。</p>

委員	「挑む」は争い事を強く感じるので、何か適当な言葉がないか。
委員	困難な未来であれば「挑む」で、未来の捉え方による。未来にかかる「挑む」なので、かかっている未来は困難ということになる。
委員	ソフトに言えば「はばたく」という言葉が使いやすい。
委員	<p>飛躍するという意味ではやはり「挑む」になる。</p> <p>冒頭のキャッチフレーズについては、「やらんば」ではなく「やるばい」という表現を考えたが、それを超える言葉は結局思い浮かばなかった。例えば、「生きるばい 磨くばい 平戸ばい」など、「ばい」というのが使い方によっては優しく、「一緒にやろう」という意味合いが含まれるのではないかと。一人ひとりが「主役にならんばね」という、きずなともつながって来るが、そういう意味合いの言葉として「生きるばい」である。「磨くばい」は、人によって磨き方が違うと思うので、感動というのか、感じて動くというのか、そのことがあれば、みんなは磨き始めるのではないかと。「平戸ばい」は、誇り、郷土愛を含むが、運命共同体というものを感じている。「とにかく住んでいる人間はみんな一緒さ」と、「良しも悪しも同じ運命をたどるとばい」と、そういう意味を込めての「平戸ばい」。「感動」というのがどこかに出てこないかと、喜んで動くことで磨かれる、喜んで動くことが「平戸ばい」と、そういうことをキャッチフレーズにつなげられないか。</p>
委員	「光を放つ未来の平戸」などもいい。あとは文言で、「挑む」はチャレンジということだが、戦いをイメージするとのご意見もあったので、少し考えたい。
委員	チャレンジは、「未来へチャレンジ 平戸市」というイメージ。「はばたく」というイメージもある。

委員	<p>キャッチフレーズについて、キーワードにある「本物」は、自ら本物と言うのは恥ずかしい感覚がある。前回の起草委員会で「美しき豊かな郷土磨きあう 私がつくる平戸の元気」と考えて提案したが、一人ひとりが主体性を持ってやろうという意味合いだ。</p>
委員	<p>特に強調したいとか残したいという思いがあればご発言いただきたい。3つのキーワードはほぼこういう内容が柱になっていくかと思う。あとは言葉として「本物」とか「感動」より、もっと違う表現がいい。確かに、本物と決めるのも、選ぶのも第三者で、市民の主体性としてどうなのかというところ。チャレンジということからすれば、市民が具体的に動くという部分の表現が必要。</p>
事務局	<p>第2章の「③誇りが持てるまち」については、シビックプライドという単語を入れたい。「③誇り（シビックプライド）が持てるまち」とし、中身もアンケートの部分は削除したところで、こういう言葉でどうかと言う意見をいただいた。</p> <p>意図として、最初にここでシビックプライドの意味合いに触れ、第4章で大きく出したい。</p>
委員	<p>「シビックプライドの醸成を図る」と、なぜか市役所の人は「醸成」を使いたがるが、あまり好きではない。</p>
委員	<p>下から2行目は確かに要らない。愛着とか誇りを一人ひとりが感じられることが大事。</p>
委員	<p>「みんなで手を」、「にぎわいを」、「誇りを」で3つ関連をつけて、あとは、③の誇りの括弧書きは外し、2段目のシビックプライドを最後に出していく。</p>
委員	<p>あまり強調すると市民に押しつけているように言われる。「私がつく</p>

	<p>るのだ」と思い、そうならなければ誇りや愛着はわいてこない。</p>
事務局	<p>(第3章について、事務局から説明)</p>
委員	<p>中学生のアンケートは、具体的なものを挙げてほしい。それこそが一番問題ではないか、課題なのではないかという意欲を感じる。</p>
委員	<p>多い順にこだわらず、おもしろい意見を入れたほうがいい。</p>
事務局	<p>表題を「未来の市長マニフェスト」としたので、要望が多かった順に並べているが、要望が多かったものを5つ程度にして、別に1ページ設け、おもしろい意見を出す形にする。</p> <p>(委員、了承)</p>
事務局	<p>(第4章について、事務局から説明)</p>
委員	<p>「まちの魅力」は「資」で「資を磨く」、「力強い」は「地」で「地を肥やす」、「まちの経営」は知恵の「知」で「知を活かす」、「まちを結ぶ」とか「まちをつなぐ」とか、そういった柔らかい表現ができる。</p> <p>「人」を、例えば「個性こそ宝」、「地域のきずな」は「あなたが大切」と、そういう言葉で表現できないか。「みんなでつくろう」とか、市民レベルの表現にならないか。5つのポイントはこの5つと思う。</p>
事務局	<p>例えば、(1)は「個～人こそ宝～」、(3)は「資～まちの魅力を高めよう～」のような形で、キーワードを出して今のタイトルをサブタイトルにしてはどうか。(4)は「市」を取って「力強い」平戸をつくる」にしたほうがいいのか。「力強い」というところがイメージしにくい。</p>
委員	<p>逆に「負けない平戸」はどうか。</p>

<p>委員</p>	<p>知恵の「知」、大地の「地」など漢字一文字で表現できないか。一文字で何か象徴できるようなものであればいい。「力強い」は、大地を肥やすというイメージを持っている。今、話し合っているのは「知」を活かそうと集結している。「きずな」はよく使われている言葉だが、「あなたがいることが平戸なんだ」と、「あなたの存在そのものが、この平戸では輝くのですよ」という意味合いがここで出てこないか。そういうものがわくわくする。</p> <p>(「第2部 平戸市のまちづくり設計図」について、事務局から説明)</p>
<p>委員</p>	<p>15 ページは「(4) 平戸市の宝」ということで個別に出ているが、14 ページの「(3) 平戸市の誇り」は発祥の地などを載せるのがメインなのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「(4) 平戸市の宝」は、基本的にはアンケートで出てきた部分と、前回、言われたように数の関係で出ていない部分もあるので、旧町村の部分も出したい。「(3) 平戸市の誇り」のところは形になっていない部分も出てくる。</p>
<p>委員</p>	<p>誇りというのは、西海国立公園のようなものではないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>長崎県が出した冊子で、県内にはこういう初めてのものがあるとか、そういうものをまとめたものがあり、ピックアップする予定。</p>
<p>委員</p>	<p>日本で初めてというのは、結構、至るところに同じようなものがあって、あまりインパクトがない。</p>
<p>事務局</p>	<p>特に平戸には「～と言われている」というものもあって、それは出せない。総合計画を作るにあたって「誇り」という言葉があるので、市民が見た時に再確認できるように出したほうがいい。</p>

委員	「私たちの平戸は日本一」とか「日本一の平戸」としたらどうか。
委員	歴史的なことがどう活かされているか、つながっているかと考える。
委員	景観とか動植物とか、そういう誇れるものはいろいろあるので、その辺を入れたほうがいい。
委員	平戸には渡り鳥の特異な地理的条件があり、個人的には誇りと思う。
委員	慣れてしまうと見過ごすが、平戸と言えば禅宗など、文化面での大きな誇りがある。平戸城があって城下町があり、禅宗やお茶など発祥のものがあるとなれば、そういう面を強調していいのではないか。
委員	平戸は水産業かということが頭にあるので、鯨とつなげられないか。アゴは有名だが、プラスアルファで何かないか。平戸に来る人は、まず食で来るようだ。
委員	毎年9月に山頭でタカの渡りを観察しているが、ちょうど眼下にアゴの引網がある。基本的に魚は回遊魚が中心なので、アゴを追いかけてだんだん大きい魚が回遊して来る。シイラが来て、マグロ類が来て、そして真冬になれば鯨が回遊してくる。そういう四季のめぐりがある。
委員	アゴだけが突然来るわけではないので、そういうものを少し付け加えたらいいのではないか。
委員	歴史の部分、景観や動植物のこと、水産業のことなど、いろいろあると思うので、その辺をうまく出せるとつながってくる。
委員	お菓子ではなく、オランダから伝わってきた食に関するものが他にないのか。平戸と言えばこの料理とか、そういうものがあるのか。

委員	ローカルのに言うと、生月はマンボウを食べる。
委員	コーヒーやビールが伝わったのは平戸だと言われている。喫茶の風習は平戸ではないか。
事務局	ビールなど、「～と言われている」というものは出しにくい。カステラも同様だが、文献で平戸が残っていない。対外的なPRに使うわけではないのでいいが、意見を踏まえて、次回までにはボリュームアップして出す。  （「第2章 平戸市デザイン」について、事務局から説明）
事務局	第2章のところは、例えば、16ページの内容を変えないといけない部分もあり、「第2次平戸市総合計画」という名前ではなく、違う名称を入れたい。
委員	「チャレンジ」などが一番いいと思うが、よく使われている。
事務局	ジャパン総研さんが作った、「住んでいな！ 来ていな！ 活力創生のまち いなべ」というのがあるが、少し長いと思い、もう少しすっきりした長さにしたほうがいい。
委員	「いなべ」なので、語呂合わせで「いな」というところだと思う。
事務局	審議会でも示す必要があり、1本に絞って出すのか、幾つか出すのか、市長の思いもあるで、どういう形で諮ればいいのか検討する。
委員	幾つか出したほうが選択しやすい。2つに絞ると早い。
委員	「デザイン」が、ピンとこない。「未来設計図」みたいな感じか。

事務局	<p>総合計画というのが、「まちをつくりましょう」、「これでデザインしていきましょう」というところで、「平戸市のデザイン」という言葉にしている。</p>
委員	<p>どこまでかみ砕くかで、単純でよければ「平戸づくり 地域づくり」など、ストレートに言ったほうがいい。</p>
事務局	<p>計画のタイトルについては考えて、お示しする。</p> <p>(「第3章みんなでやらんばプロジェクト」について、事務局から説明)</p>
委員	<p>20 ページ(第2節 地域づくりプロジェクト)のところは、各地域で話されたことが出されてくるということか。</p>
事務局	<p>そのとおり。ここの分け方が、大島、田平、生月、平戸とあり、度島はどうするか、多くて7つを想定している。生月は館浦のほうと壱部のほうと協議会が別。ベースがあれば、その辺をミックスしたものを目標にすることができるが、平戸の中部等がまだない。南部が志々伎地区と津吉地区が動き始めている。協議会や審議会の中で話をしていく予定。</p>
委員	<p>分け方は地域での話を踏まえた上で出されるのか。</p>
事務局	<p>別々がよければ別々に、1つでするとなれば1つで提案する。</p>
委員	<p>具体的な取り組み、プロジェクトを書くということか。</p>
事務局	<p>目標なので、地域としてのまとまりの方向性というか、大きな目標の形でいいと思っている。第1節のほうが大きなくくりになっているので、細々な面までは必要ない。</p>

委員	「協働」は使わないといけないのか。
事務局	「協働のまちづくり」が1つのポイントになっていることもあり、「協働」を使っている。
委員	10年後はこの言葉は使われない。今でも「協働」は時代遅れではないかと思う。最先端をいっている都市などはあまり使っていない。
委員	何かふさわしい言葉があればいい。行政と市民が同じ目線で一緒にやっっていこうという解釈だ。別冊でも最後のほうでもいいが、用語集か注釈のようなものを入れれば、読みやすくなる。
委員	15ページの「(4) 平戸市の宝」について、前回、平戸島が中心になって田平や生月が1つも入っていないということで、大バエ灯台と田平天主堂を入れているが、山頭草原はあまり観光地化されていないので、今はサンセットウェイや塩俵の断崖ではないか。
委員	一番目に平戸大橋があるが、生月大橋も3径間連続トラス橋としては世界最大規模。土木賞も平戸大橋と生月大橋がもらっている。
事務局	配布には間に合わなかったが、コンサルから頂いた資料にはそのことが記載されている。
委員	志々伎山もすばらしい。志々伎山は高校の地理の教科書に世界的な有名な火山として出ていた。針葉休火山か死火山で、針のようになっているところが世界的に珍しい。
委員	これは基本構想で議論するのか、基本計画なのか分からないが、平戸市行政がこうして総合計画を作って市民に提示し、その時に、行政の意気込みとか姿勢が問われると感じている。庁舎内でいろいろ議論はして

	<p>いると思うが、その辺をどこで出すのか、そういう議論があっているのか。例えば、7ページの「(5) まちの「経営」を工夫する」は全体的に通り返り一遍と言えれば通り一遍で、これはこれでいいが、どこかの部分で、その辺の議論を重ねて出してほしい。いろいろ縮小されて支所も人が減ったりしている中で、住民サービスとコストの問題等の議論がどれくらい進んでいるのか気になる。</p> <p>また、ここには環境的なものは書かれてないので、そういう取り組みも大事だと感じている。</p> <p>委員 環境のこととか文化財を守っていくとか、そういう個別の部分は基本計画の中で、もう少しうまい込むようになる。今までの計画の中では、意識を変えるというところまでは踏み込んでいない。総合計画は基本構想と基本計画と実施計画という3本立てで作るが、その中で、意識の醸成を入れてはいけないとはなっていないので、入れ込むことは可能。意識を変えるというのは一番難しいところで、逆に小さい町村のほうがまとまりやすいが、今の平戸市の規模になるとなかなか難しい。難しいとばかり言えば全くできないので、意識を高めるということを入れ込むのも1つの計画づくりとしていい。</p> <p>委員 循環型社会の構築を目指すとかを宣言しているところがあるが、そういう取り組みは、観光にしても特産品にしても平戸の価値を高めると思う。その辺も1つ議論が必要ではないか。</p> <p>委員 これから人が減っていく中で住民として何をすべきか、できることは何か、行政しかできないことは何か、知恵を出し合っていこうというのが基本にある。そういう中で、まちをどうつくるか全体像が見えてくると思うので、これはあわせて出てくるのではないか。</p> <p>委員 人づくりという点で、こういう人口が少ない地域においては、行政の組織が一番巨大で、地方での地域づくりは優秀な行政マンをいかに育て</p>
--	---

	<p>るかが1つの大きなポイントだ。人材育成等をいろいろ見ているが、行政マンとして、その辺をどう考えているのかも1つのまちづくりのポイントではないか。まちづくり運営協議会をしているが、行政の参加が少ない。個人で参加を呼びかけると「自分たちは仕事でまちづくりをやっています」と。私たちも仕事をしながら忙しい中でやっているという気持ちを伝えたい。</p>
事務局	<p>ボランティアの人やまちづくり協議会等の人たちは、自分の仕事以外でまちづくりをしており、私たちは給料をもらってまちづくりをしている。そこが本来は違うのだが、まちづくりでお金までもらっているという意識はなく、ただ単純に仕事をしている感覚だと思う。その辺は確かに私たちの課題だが、意識を変えることがなかなか難しい。</p>
委員	<p>一般の住民もプログラムを組んで、行政マンの人材育成もプログラムを組んで取り組むべきだ。</p>
委員	<p>行政の現場での取り組みは個人差があって、本当に頭の下がる思いの人もある。そういう方には荷が重すぎるほどたくさんの方がぶら下がっているが、通り一遍の人もある。</p>
事務局	<p>行革プランも作っており、職員が資質を上げることは行革につながる。職員の定員適正化計画も作るようになっている。人口規模が減れば職員は減らざるを得ないが、この10年間、総数が減っていない。資質を高めないと職員を減らせないので、行革の計画や職員の定員適正化計画の中でもうたってもらおうようにする。</p>
委員	<p>住民サービスとコストの問題もある。研修に行った所は、行政コストはローコストでやっていた。2,000人規模だが窓口業務は週2回、1日は午前中だけ、1日は午後だけという形だった。だから生月の館浦出張所をやめようと言っているわけではない。</p>

事務局	<p>総論はそうだけれども、各論になると皆がだめだとなれば困る。</p>
委員	<p>2,600人くらいが歩いていける距離に出張所があり、正職員1名、臨時職員1名なので、行政コストは運営コストも入れて多分1,000万円以下だと思う。非常に効率がいい。高齢化が進んで車で行けない人がたくさんいるので、なくすのは非常に不便。例えば、窓口業務はコンビニでも郵便局でもできるのではないかという議論も以前はあったが、数字に表れない相談業務がかなりある。そういう中で1,000万円の館浦出張所をなくすのかと、住民の立場としては非常に疑問に思っている。これが1億円とかコストがかかっているならば、どうにかしなければとなるが、サービスとコストの問題だ。</p> <p>今の流れから言えば支所もある程度はやむを得ないと思うが、地域の活力の低下につながる。そこをどう担保するか、そのためのまちづくり協議会の立ち上げだと思うが、その辺をしっかりと担保を取って進めなければ、地方の一極集中につながるだけだ。生月の人口減少はかなりの数が田平に家を建てているので、田平は大丈夫だと思う。</p>
事務局	<p>職員の意識改革等については行革の計画や職員の定員適性化計画の中でうたっていく形になる。</p>
委員	<p>この総合計画である程度うたうべきだ。</p>
事務局	<p>うたってもいいが、各論にまで触れない程度になる。</p>
委員	<p>一般市民から、私たちばかりに押しつけて行政はどういう姿勢なのかという目で見られる。その辺も踏まえて庁内で議論していただきたい。</p>
事務局	<p>職員の資質を高めるべきとは感じるし、ローコストでやっていくことも大切だと思うので、その辺は書いてもいい。</p>

<p>(2) 今後のスケジュールについて</p> <p>事務局</p>	<p>骨子案をどこまで作り込んで審議会にかけるかという部分もあるが、審議会の開催も骨子案がある程度固まって調整したい。</p> <p>今月下旬に地域協議会と地域審議会があるので、各地域の「地域づくりプロジェクト」というところの説明をしていきたい。</p> <p>全体的なスケジュールについては、A 3の資料に書かせていただいております。起草委員会は6番のところになります。総合計画は平成29年度中に作ってしまう必要がある。</p> <p>会議終了</p>
-------------------------------------	---